ミズヒキ ［ 水引 ］

5本の樹

夏緑／多年草／地被類等／草本植物／在来種

科　名　タデ科（APGⅢ）

特　記　生長：普通

全国に自生する多年草。細長い花柄に小さな花を点々とつける。花弁に見えるのは萼（がく）で、花穂を上から見ると赤く、下から見ると白く見えることから、紅白の「水引」に見立てた命名。白い花をつけるギンミズヒキもある。よく似た名前のキンミズヒキはバラ科の植物。

葉

花（紅白混植）

花：赤花（基本種）

花：白花

Memo

花弁に見える萼は４枚あり、上につく３枚が赤く、下の１枚が白い。環境により色に差が生じる。

お手入れカレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花期								■	■	■		
果実										■	■	
紅葉												
施肥	（不要）											
剪定												■

好みの環境					
日当り	陽		○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○	○				

ポイント

林縁や日陰の庭隅でよく生育する。秋の野草として親しまれ、夏を過ぎると急に存在感を増してくる。８０cm前後の草丈の半分ほどが花穂になる。ある程度まとめて群生させると見映えがよくなる。

剪　定

花が終わったら、地上部の葉とともに切除する。冬の時期は刈り込んでスッキリさせると美観が保てる。放任すると、思わぬ場所からこぼれた種子が発芽する。

病虫害

病虫害は少ない。

呼べる鳥　マヒワ・スズメ・キジバト
カワラヒワ

SEKISUI HOUSE
COPYRIGHT©SEKISUI HOUSE,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.